

- 開館時間 9：00～17：15（入館は16：45まで）
- 休館日 原則として、月曜日、祝日、年末年始
- ◆プラネタリウム臨時休演 10月16日(火)、17日(水)、10月30日(火)～11月1日(木)
- ◆全天周映画臨時休演 10月16日(火)、17日(水)
- ◆展示室はリニューアル工事のため、以下の期間休館いたします。
平成19年10月18日(木)～平成20年3月下旬（プラネタリウム・全天周映画は通常通り上映）

●入場料

区 分 / 金 額	個 人	団 体 (20人以上)
展 示 室	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	100円
プラネタリウム	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	200円
全天周映画	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	200円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円
	こども (小・中学生、高校生)	300円

※幼児は無料（ただし大人の保護者同伴のこと）

●宇宙劇場投映開始時刻

曜日/時刻	10：00	11：10	12：20	13：30	14：40	15：50
火～金	学習投映 (団体予約優先)	学習投映 (団体予約優先)		学習投映 (団体予約優先)	全天周映画	プラネタリウム
土・日 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

- ◆定員210名、各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
- ◆学習投映は（学校）団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は、あらかじめお電話にてご予約ください。

【宇宙劇場】

ドーム直径21m、床傾斜25度、210座席。
プラネタリウムと全天周映画の設備を併せ持つ、
中国地方でも最大級の科学シアターです。



Le Petit Prince™ ©Succession Antoine de Saint-Exupéry 2015
licensed by Le Petit Prince™ 星の王子さま™

宇宙劇場 ★ プラネタリウム

PLANETARIUM

投映の話題（今夜の星空解説含む）

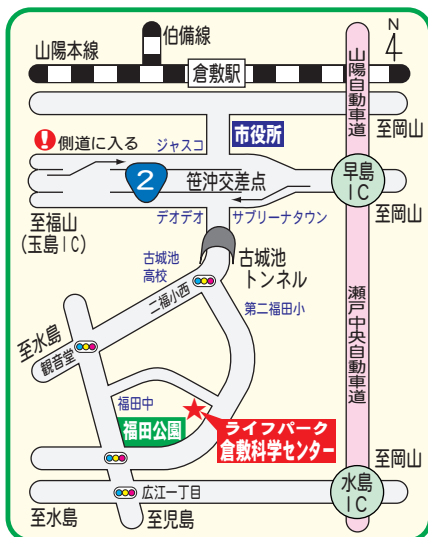
サン＝テグジュペリ権利継承者正式認定プラネタリウム作品

Le Petit Prince
星の王子さま

VOL.44 2007. 7. 13 ～ 2007. 10. 28

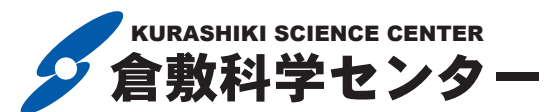
ACCESS

- ◆ J R 倉敷駅からタクシー 25分
- ◆ J R 倉敷駅からバス 25分
- 下電バス
 - ・『市役所・古城池経由 J R 児島駅行』
ライフパーク倉敷入口下車・徒歩5分
 - ・『大高経由 J R 児島駅行』
福田中学校前下車・徒歩20分
- ◆ 国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- ◆ 瀬戸中央自動車道 水島 IC から車で10分
(広江一丁目交差点を右折後、最初の信号を右折)



倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内
TEL (086) 454-0300 / FAX (086) 454-0304
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>



「今夜の星空」の解説

天文学の専門家による星空生解説。その日に見える星空をご紹介しますので、台本は一切なし。星空に合わせて話題も毎日変わります。

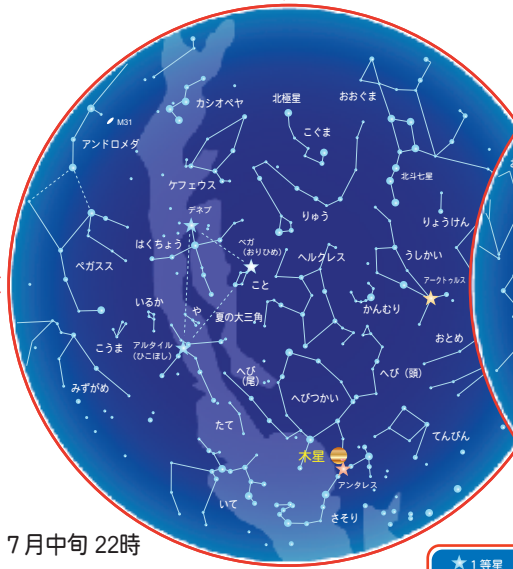
星座のさがし方から、おすすめ天文現象まで、ドームの下での星空散歩をお楽しみください。

プラネタリウムの解説台より



7-8月の星空

北



7月中旬 22時

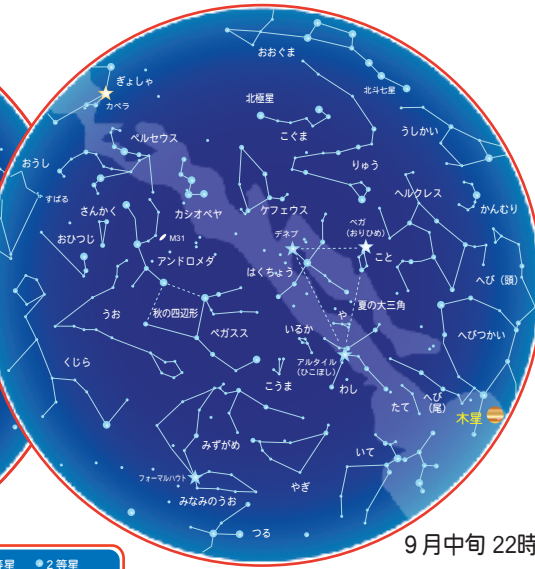
8月中旬 20時

南



9-10月の星空

北



9月中旬 22時

10月中旬 20時

南

西

観測ガイド

- 8月12日夜中～13日明け方 = ペルセウス座流星群が極大。
- 8月28日 = 皆既月食。皆既始まり18時52分／皆既終わり20時23分
- 9月24日 = 金星が最大光度。(光度-4.6等)
- 9月25日 = 中秋の名月。(旧暦8月15日)
- 10月26日 = 今年最も大きな満月が見える。4月3日の満月と比べて12%大きい。

月の満ち欠け

7/8 7/14 7/22 7/30 8/6 8/13 8/21 8/28 9/4 9/11 9/20 9/27 10/3 10/11 10/19 10/26 11/2



下弦 新月 上弦 満月 下弦 新月 上弦 満月 下弦 新月 上弦 満月 下弦 新月 上弦 満月 下弦

星の王子さま

上映期間／7月13日(金)～10月28日(日)

「ねえ、ヒツジの絵を描いて」
パイロットである「ぼく」が不時着した砂漠の真ん中で出会ったのはヒツジの絵を描いてとせがむ小さな「王子さま」でした。
一緒に過ごすうちに「ぼく」は「王子さま」が小さな星からやってきたことや「バラの花」の言葉に心を傷つけられて自分の星をあとにしたことなどを知るようになります。
そして地球で出会った「キツネ」がくれた「秘密の贈り物」のことも。
次第に心を通わせていく「ぼく」と「王子さま」。
しかし別れのときが訪れて・・・



「星の王子さま」は、フランスの作家で飛行家でもあるサン＝テグジュペリ作の童話です。1943年に発表されたこの童話は、140以上の言語に翻訳され、累計発行部数が6000万部を超えるという世界的なベストセラーとなりました。現在もその人気は衰えることなく、言葉や世代を超えて世界中の人々に愛され続けています。作者サン＝テグジュペリが伝えようとした“本当に大事なこと”とは、一体、何なのでしょう？満天の星空の下、あなた自身の答えを探してみてください・・・。



原作：アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ
監修：理学博士 佐治 晴夫
主題歌：「君の唄」川江美奈子（ドリーミュージック）
音楽：上田 益
協力：株式会社セラム
企画・製作：(株) 五藤光学研究所
(株) D&Dピクチャーズ (株) イーハートヴ

次回のプラネタリウム新番組は 11/2(金) よりスタートです。